

平成30年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン: 素直で明るい少人数の児童、意欲ある教師集団、学校への理解と期待の姿勢をもった保護者、協力的な地域人材を秋山小学校の教育環境の「よさ」として生かし、教職員が一丸となって児童がしっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る「明るい子、正しい子、強い子」の育成に取り組む。 【4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する】

評価項目	具体的目標	方策・手立て	自己評価				成果と課題	評価者評価					学校関係者評価委員の意見	
			4	3	2	1		総合	4	3	2	1		総合
へ 明 る 徳 い 育 子 の 充 実 育 成	基本的な生活習慣の定着	1 家庭と連携した基本的な生活習慣の定着を図る指導の充実 ・心からのあいさつを実行し、整った学習環境を整備し、時間を大切に活動を行う。	○				○ 毎朝のあいさつ運動は、規律ある学習態度の育成を通して、基本的な生活習慣の定着を図った。						3	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の挨拶は十分定着しており大変気持ちのよいものです。 ・朝の立ち番指導の時には大きな声で挨拶をしてくれるので、気持ちよく声掛け指導ができます。 ・以前に比べ、挨拶がないように感じます。 ・道徳教育は、非行や犯罪を防止する人間教育であり更に充実を図ってほしいと思います。 ・グラウンドゴルフ交流会は、高齢者も児童とのふれあいを楽しみにしているようです。児童のプレーの上達に感心しています。 ・グラウンドゴルフ交流会は、子ども達も地域の方々に溶け込み楽しい時間を過ごすことができました。また、普段から子ども達と顔見知りのためか、体験活動等では、積極的に交流している様子が見受けられました。
	望ましい人間関係の育成	2 生徒指導の三機能を生かした学級経営の推進 ・教職員が、児童に相手の立場や気持ちを意識した実践ができるように教育活動全体を通して指導し、人権教育の充実を図る。	○				○ 生徒指導の三機能を生かした授業実践では、自己存在感や自己決定の場を与え、共感適人間関係を育成する等の授業研究を重ねることで、分かる授業が実践できた。							
	道徳教育の充実	3 道徳の時間の完全実施と充実 ・学校参観日にあわせて、1月に道徳参観日を実施する。 ・全職員で行う心の教育に取り組む。	○				○ 道徳の時間の充実を図り、1月には道徳の参観日に、人権を主題にした授業を実施した。互いを思いやる心の教育を充実させることができた。							
	体験活動の充実	4 地域・家庭との連携を図った体験活動の充実 ・教育効果を高めるために、地域の素材や人材を生かした学習や活動を積極的に取り入れる。	○				○ 保護者や地域の方に理解と協力を得て、グラウンド交流会や茶摘みやものづくり等の様々な体験活動を実施することができた。	○						
へ 正 し 知 い 育 子 の 充 実 育 成	基礎・基本の学習内容の定着	5 授業時間を確保し、基礎・基本の学習内容の定着 ・授業のねらいを明確にし、達成するための指導の工夫を行う。 ・学力調査結果の分析及び考察を行い、指導に生かす。	○				○ 分かりやすい授業を目指して、職員研修や教材研究に努めた。教職員による授業改善を進めることで、少しずつ成果が現れてきている。						3	<ul style="list-style-type: none"> ・家で読書する姿がよく見られるようになりました。 ・全学年で取り組んでいる漢字検定は、全国共通の問題であり、学習内容の習熟度を更上げて挑戦する心を養ってほしいと思います。 ・漢字検定やCRT検査、日本語検定など、子ども達の頑張りが取り組む姿が見られた。 ・日本語検定も希望する児童には、検定を受ける機会を与えてもらいたいと思います。 ・何れの項目を見ても想像を超える実践であり教職員の皆様の高い指導力の成果だと思います。
	個に応じた指導の充実	6 個に応じた指導の徹底 ・個別の指導計画を生かした指導と計画の改善を図る。 ・単元末テストの個人目標の設定と目標の完全達成を目指す。	○				○ 個別の指導計画を作成して、個々の習熟を図った。更に、個別指導の充実に向けた対策を進める。							
	読書の習慣化	7 読書教育の推進 ・朝の読書の時間を活用した「くしまっ子読もうよ100冊」を完読する。 ・PTAと連携した家読を推進する。	○				○ 朝読を実施した。学校図書委員による朝の貸出を常時活動として実施することで、年間を通して児童の読書量が増えた。	○						
	各種テストの実施	8 各種検定等の実施と習熟 ・夢実現のために必要な学力の向上と定着を図る。	○				○ 全学年で漢字検定やCRT検査を実施し、学習内容の習熟を図ることができた。	○						
へ 強 い 子 の 充 実 育 成	運動量の確保	9 体力向上プランに基づいた基礎体力の向上 ・教科体育や外遊びの充実で運動量の確保に努める。 ・年間を通した体力づくりの指導とその成果を発表する機会を設ける。	○				○ 体力向上プランに基づいた運動量を確保し、体力向上を図ることができた。一輪車、持久走、なわとび等で、技や記録に挑戦させながら成果を発表する機会を設けた。	○					4	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な運動量の確保等、高く評価されるべきであると思います。 ・体力向上のための一輪車の習熟度は秋山小ならではの取組であり、児童もよく頑張っていると思います。 ・年に3回の「弁当の日」の取組は大変良いと思います。 ・「弁当の日」は、パーフェクトコースにすると、はりきって何を作ろうか考えます。料理の楽しさや難しさ、栄養バランスも少しずつ考えられるようになりました。 ・いじめや児童虐待は重要な問題であり、日頃から学校環境づくりや家庭環境づくりをこれまで以上に充実させ、継続できるように務めていただきたいです。
	健康習慣の定着	10 基本的な健康習慣の定着と家庭と連携した指導の推進 ・エチケット点検を継続して実施する。 ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」に取り組む。	○				○ 週に一度のエチケット点検を実施することにより、自分で身だしなみを整える習慣が付いてきている。 ○ 「早寝、早起き、朝ごはん」は定着してきている。							
	食育の推進	11 食育の推進 ・学期一回の「弁当の日」を実施する。 ・給食指導を通した栄養指導の充実を図る。	○				○ 学期ごとに、「弁当の日」を実施し弁当作りを充実させることができた。また、計画的に栄養教諭を活用した授業を実践することにより、食育を進めることができた。	○						
	保健学習の充実	12 養護教諭と連携した保健学習の充実 ・養護助教諭とチームティーチングによる保健の授業を実施する。 ・けがやインフルエンザの情報共有し保健安全意識を高める指導を行う。	○				○ 学級活用の時間や業間の時間に、養護教諭を活用した授業を実践し、充実した健康学習を実施した。	○						
小 中 高 一 貫 教 育 の 推 進	小中連携、小小連携、交流学	13 小中連携、小小連携による集合学習の充実	○				○ 9年間を見通した系統性・一貫性のある教育活動に継続して取り組んだ。また、北方小や大平小、市木小、大東小、福島高校との交流活動を進め児童により刺激を与えることができた。	○					4	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な学校との交流を通して、さまざまな刺激を受けたり、協調性を身に付けたりしている。継続して取り組んでほしいと思います。 ・小規模校ならではの特権です。福島高等学校との交流は、素晴らしい取組だと思います。 ・児童数の少ない中で、北方小や市木小、大東小などと交流を行い、児童に刺激を与えることは大変重要なことであり、今後も積極的に継続すべきだと考えます。その一方で、児童が児童らしく多くの児童とふれあい、学びあうことも重要なことであり、PTAを中心に地域の意見を聞く機会等をつくり、統合問題も引き続き慎重に検討することも必要であると思われま
	習の充実	「くしま学」を生かし故郷を愛し故郷に誇りをもつための学習の工夫と充実 ・「くしま学カルタ」の活用を図る。	○				○ くしま学カルタは、年間を通して全校児童で取り組み、市のカルタ大会では代表児童がベスト8に入賞するなどよい成果を上げた。	○						
		学校の教育活動を広報し地域・家庭へ理解してもらうための取組の充実 ・学校参観や施設開放、情報提供等で地域に開かれた学校づくりに努める。	○				○ 参観日は8回実施した。秋山っ子祭りや運動会は、高齢者や地区の方々に広く参加を呼び掛けて、ふるさと秋山を生かした教育活動を進めた。	○						